

ZSSSK

生活科・総合教育だより

全国小学校生活科・総合的な学習教育研究協議会会報

全国小学校生活科・総合的な学習教育研究協議会

事務局 東京都武蔵野市立境南小学校

〒180-0023 東京都武蔵野市境南町 2-27-27

TEL 0422-32-3400

発行人 宮崎 倉太郎

編集人 小高 和子

予測困難な時代における生活・総合の充実に向けて

全国小学校生活科・総合的な学習教育研究協議会
会 長 宮崎 倉太郎
(東京都武蔵野市立境南小学校長)

7月3日の本研究協議会第1回全国理事会において、前会長齋藤等先生からバトンを引き継ぎ、本協議会の会長を務めさせていただくこととなりました。全国の皆様とともに、生活科・総合的な学習の時間の更なる充実・発展のために努力してまいります。どうか、よろしくお願いいたします。

昨年度は、感染症の拡大により中止となった第1回理事会ですが、今年度は、全国の各理事の先生方のご理解・ご協力をいただき、オンラインでの開催が実現できました。実際に集まって対面での協議や情報交換ができれば一番良いのですが、結果として、例年以上に多くの地区の理事の皆様にご参加いただくことができ、オンラインのメリットも実感したところです。

特に、これまで教科調査官としてお世話になった渋谷一典先生の後任として4月に着任された齋藤博伸教科調査官から、「生活科・総合的な学習の時間への期待」の演題でご講演をいただき、全国の先生方にご視聴いただけたことは、大きな意義のあることだったと思います。

さて、昨年度の小学校学習指導要領の全面実施に続き、本年1月には中央教育審議会答申『令和の日本型学校教育』の構築を目指して～全ての子供たちの可能性を引き出す、個別最適な学びと協働的な学びの実現～」が示され、昨年度からの一年間で、教育に関する様々な動きが見える形で始まっています。

そして、そうした動向の中でも生活科・総合的な学習の時間の果たす役割は、これまで以上に大きいものとなっています。中教審答申において一体的な充実を求められている「個別最適な学び」と「協働的な学び」についても、従前から生活科や総合的な学習の時間で大切にしてきたことです。

昨年度は、全国各地で学校が長期間臨時休業となるなど、予想もしなかった事態が次々と起こり、学校の教育活動も大きな変更や変化が求められました。

本校は、東京都のほぼ中央に位置しており、吉祥寺や井の頭公園でよく知られる武蔵野市にあります。本市では、第5学年での6泊7日という長期宿泊をはじめ、第4学年から第6学年までの各学年で宿泊行事があります。しかし、昨年度は、全市的に宿泊行事はすべて中止となり、本校では遠足や社会科見学も昨年

度は実施しませんでした。

一方で、本校の生活・総合の実践については、これまで以上に充実した取組が見られました。生活科では、町探検の訪問先として教員からお願いしてお断りをいただいた地域のお店がいくつかありました。すると、そのことを聞いた児童から「先生、その店は、先生の行きつけじゃないでしょ？」の声が上がり、児童自ら放課後にお店に行ってお願いをするなどして、訪問の許可をいただくという姿がありました。また、総合的な学習の時間では、「コロナ禍でも頑張っている地域の人やお店を応援したい。」という児童の思いから、がんばっているお店などを紹介する動画を作成し、駅前の大型スクリーンを運営する方のご協力を得て時報に合わせて流してもらうなど、児童と教員、そして地域の方との協働による活動が展開され、「例年どおり」ができないからこそ、新しいアイデアや工夫を生み出し、児童が本気で取り組む活動が実現しました。今後も、危機管理をおろそかにはできませんが、児童も教師も「だったら、こうしてみよう」「みんなで知恵を出し合おう」と考える中で、主体性や当事者意識が大きく醸成される機会にもなるのだと捉えることが大切であると考えます。まさに、中教審答申に記された、「一斉授業か個別学習か、履修主義か修得主義か、デジタルかアナログか、遠隔・オンラインか対面・オフラインかといった、いわゆる「二項対立」の陥穽に陥らないことに留意すべき」を具現し、生活科・総合的な学習の時間に関わる皆様が各地区の学校の中心となって、最大限の感染防止策を講じつつ、よりよい教育実践を進めていく時であると考えます。

来る11月4日(木)・5日(金)には、本年度の全国大会(大阪大会)が行われます。感染状況を見つめながらのご準備は、大会当日まで多くのご苦労があるかと思いますが、現段階では、実地とオンラインのハイブリッドでの開催をご検討いただいております。大会実行委員長の池田知之先生をはじめ、大阪の関係者の皆様に感謝申し上げます。2校での公開授業、5人の先生方によるシンポジウムや、齋藤教科調査官によるご講演、また、全国23地区からのオンラインと紙上発表の形で実施予定の課題別分科会も楽しみなどです。本大会によって全国各地の生活・総合が一層充実し、これからの時代を生きる子供たちに求められる資質・能力の育成に資する学習活動を提供するための貴重な機会となるよう、オンラインも含め、全国の皆様の積極的なご参加をよろしくお願いいたします。

ただ今準備中

大阪大会実行委員会よりお知らせします。



大阪大会は**令和3年11月4日(木)13:00**に開会します。

この日のメインは、二つです。

一つ目は、國學院大學教授 田村 学先生、文部科学省教科調査官・愛知淑徳大学准教授 加藤 智先生 鳴門教育大学准教授 泰山 裕先生 関西大学非常勤講師 小島 亜華里先生によるシンポジウムです。司会は、関西福祉科学大学教授 馬野 範雄先生です。

大きな社会の変化の波が押し寄せてきていますが、令和の新しい日本型教育の構築をめざす中で、生活・総合の役割はますます大きくなっていくと思います。長年取り組みを進めてきた立場としてはうれしくもありますが、身の引き締まる思いでもあります。田村先生や加藤先生からは、最新の研究の動向も踏まえた、今後の生活・総合の実践についてあるべき姿などをお話いただき、議論を進めていただけたと思っています。泰山先生、小島先生は大阪の実践について、特に公開授業校である吉野小学校、晴明丘南小学校の実践研究に深く関わってこられました。お二人には、田村先生、加藤先生のお話と大阪の取組みを関連付けたお話をしていただけたと思います。

未来の学校や教育について明るい展望や希望が持てるような話になるよう、司会の馬野先生には、コーディネートをお願いしています。大きな流れは以上のように考えていますが、ライブ感覚を大切にそれぞれの先生方の本音トークなども、きっと見られると思います。お楽しみに！

もう一つのメインは、新しい教科調査官 齋藤 博伸先生の講演です。この4月に調査官に就任された齋藤先生のお話をたつぷりと聞けます。演題は「新学習指導要領の主旨を踏まえた生活科・総合的な学習の授業づくり」です。丁寧でわかりやすく、明日からの実践に生かすことができる内容です。どうぞこちらも楽しみにしておいてください。

もちろんそれ以外でも、開会行事でのあいさつや、基調提案もあります。基調提案は新型コロナウイルス感染症の状況の中で、何度も書き直しながら作成しました。前回の大阪大会から10年、現場での実践を通して大阪が大切にしてきたことをまとめた内容となっています。

2日目11月5日(金)はいよいよ公開授業と分科会発表です。



新型コロナウイルス感染症の状況にもよりますが、公開授業校の吉野小学校、晴明丘南小学校では、全12クラスのすべてで、公開授業を予定しています。現在(8月2日)では、まだ内容が固まっていない学年もあり、当日はお知らせした内容と異なったものになるか

かもしれませんが、子どもたちの意識の流れを大切にしたカリキュラムの見直しを常に行いながら進めています。感染状況の拡大により、直接対面での公開ができないときのために、オンラインでのライブ配信も予定しています。吉野小学校は2年生と6年生、晴明丘南小学校は1年生と5年生の計4本の授業をライブで配信します。他の学年の授業も後日ビデオ等で公開する予定です。オンラインライブ配信は、直接対面での公開ができる場合も実施します。

午後からの課題別分科会は、オンラインでの交流になります。コロナ禍の厳しい中から各都道府県で取組まれた貴重な実践について、育てたい資質能力の具体化、カリキュラムマネジメント、探究的な学習の3つの視点で発表をもとに交流します。それぞれの地域の今を知り、新たな実践のアイデアやヒントを見つけることができると思います。

最後に、それぞれ公開授業校の実践について、指導講評を、吉野小学校は鳴門教育大学准教授 泰山 裕先生、晴明丘南小学校は関西大学非常勤講師 小島亜華里先生にさせていただきます。お二人の先生には、それぞれの学校の研究授業にすべて関わっていただきました。指導案の検討会は、オンラインでのやり取りも含めると数えきれないほどで、両校の実践については本当に深く関わっていただきました。研究実践についてかなり突っ込んだお話をしていただけたと思います。なお、両校の研究発表については、当日までに大阪大会ホームページにアップする予定ですので、どうぞご覧ください。

さて、コロナ禍の中このように準備を進めている大阪大会ですが、オンラインでの授業配信など新しいことに挑戦するために、経費がかかっています。そこで、皆様に協力していただきたいのです。ぜひ、参加費4000円をご準備いただき、ホームページから申し込みをしてください。一人でも多くの方を誘って申し込みしていただくとありがたいです。

「4000円はちょっと高いんじゃない？」とお考えの方もおられると思います。お申込みいただいた方には、もれなく

①大阪大会の研究紀要

②指導案集(吉野小学校・晴明丘南小学校2冊分)

③オンライン授業公開の参加コードなど

④後日ビデオ配信のコード などをお届けします。



ご理解・ご協力・ご入金の程どうぞよろしくお願いいたします。



**令和3年度
全国小学校生活科・総合的な学習
教育研究協議会役員名簿**



宮崎 会長

- <顧問> 増田 和彦（元全小生研会長）
 會田 満（元全小生研会長）
 松村 昌俊（元全小生研会長）
 万代る里子（元全小生研会長）
 船田 信昭（元全小生・総研会長）
 寺崎 千秋（元全小生・総研会長）
 和田 信行（元全小生・総研会長）
 浅田 学（元全小生・総研会長）
 井出 政廣（元全小生・総研会長）
 清水 一豊（元全小生・総研会長）
 茂木 三枝（元全小生・総研会長）
 相川 哲也（元全小生・総研会長）
 齊藤 純（元全小生・総研会長）
 水谷 光一（元全小生・総研会長）
 齋藤 等（元全小生・総研会長）

<会長> 宮崎倉太郎（東京・武蔵野市立境南小）

<副会長>

- 北海道ブロック 熊谷 雅史（北海道・札幌市立中沼小）
 東北ブロック 佐々木康之（宮城・仙台市立鹿野小）
 関東ブロック 金子 靖子（栃木・宇都宮市立今泉小）
 東京ブロック 景山与賜也（東京・葛飾区立北野小）
 東海・北陸ブロック 未 定
 名古屋ブロック 赤塚 浩彦（愛知・名古屋市立原小）
 近畿・大阪ブロック 池田 知之（大阪・大阪市立吉野小）
 中国ブロック 永井伸一郎（岡山・赤磐市立仁美小）
 四国ブロック 佐々木 誠（香川・高松市立大野小）
 九州ブロック 木下 和敏（長崎・長崎市立福田小）

<事務局>

- 事務局長 八木 慎一（青梅市立第二小）
 TEL 0428-22-7264 FAX 0428-24-2149
 庶務 清水 仁（新宿区立落合第三小）
 TEL 03-3565-0941 FAX 03-3565-0976
 庶務 副 中村 泰之（世田谷区立世田谷小）
 TEL 03-3420-7242 FAX 03-3420-8137
 広報 小高 和子（葛飾区立宝木塚小）
 TEL 03-3693-4788 FAX 03-5698-1737
 会計 富田恵美子（稲城市立稲城第七小）
 TEL 042-377-0351 FAX 042-379-3657
 会計監査 野尻 史子（北区立滝野川もみじ小）
 TEL 03-3949-5267 FAX 03-5567-4527

分担金納入のお願い

理事の皆様には、お元気でご活躍のことと存じます。

さて、本会は、各都道府県・自治体の研究会からの分担金により、全国大会の補助金（25万円）、生活科・総合教育だよりの年2回の発行（ホームページ掲載により、印刷配布は1回）、理事会開催等に関する経費を賄っております。

各研究会におかれましては、様々な事情があると存じますが、是非ともお早目の分担金納入に格段の御配慮を賜り、下記までお振り込みくださいますようお願い申し上げます。

記

郵便局 記号 10010
 番号 89682811
 名称 全国小学校生活科・総合的な学習
 教育研究協議会

（問い合わせ） 担当 富田恵美子

なお、分担金は一口1万円以上です。

全国小学校生活科・総合的な学習教育研究協議会
 ホームページURL
<http://www.zenseisouken.net>